

考查項目別運用表

(専任監督員)

考査項目	細別					
2.施工状況	I.施工管理	a <input type="checkbox"/> 適切である。	b <input type="checkbox"/> ほぼ適切である。	c <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	d <input type="checkbox"/> やや不適切である。	e <input type="checkbox"/> 不適切である。
		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input checked="" type="checkbox"/> 施工計画書が設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。 2 <input checked="" type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 3 <input checked="" type="checkbox"/> 工事材料を、品質に影響が無いよう保管している。 4 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 5 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 6 <input type="checkbox"/> 品質管理図表及び度数表が作成され、適切である。（測定数が15点以上の場合に評価対象とする。） 7 <input checked="" type="checkbox"/> 現場内の整理整頓が日常的に行っている。 8 <input checked="" type="checkbox"/> 使用材料の品質を証明する資料（品質証明書、写真等）を整理している。 9 <input checked="" type="checkbox"/> 工事打合せ簿を、不足無く整理している。 10 <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 11 <input checked="" type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 12 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書の照査や、現場との相違事実がある場合の報告等を適切な時期に行っている。 13 <input checked="" type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされている。 14 <input checked="" type="checkbox"/> 監督員の立会、段階確認、施工状況把握に係わる報告が適切な時期に行われている。 15 <input checked="" type="checkbox"/> 施工プロセスのチェックリストで施工管理について指示事項がない。 16 <input type="checkbox"/> その他 理由 :  </p> <p>該当項目が 0 ~ 60 %未満・・・・d 評価対象外</p> <p>該当項目が 60 ~ 80 %未満・・・・c 評価対象外</p> <p>該当項目が 80 ~ 90 %未満・・・・b 評価対象外</p> <p>該当項目が 90 ~ 100 %・・・・a 評価対象外</p>	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。		

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目はチェックをはずす。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評価する。
 ③評価値 () % = () 評価数 / () 評価対象項目数
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする